

# おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第2号

令和8年5月19日(火)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/1320111>

↑更新中

## 「生徒にどのような力を身につけさせたいのか」を考える

校長 福沢 俊之

5月16日の新聞に、「小学校の算数が『数学』に?」という見出しの記事がありました。中学校では2031年度から全面実施される次期学習指導要領(小学校は2030年度)の改訂にあたり、中央教育審議会(文部科学省の諮問機関)の作業部会で、80年以上の歴史がある算数の名称を数学に変えようという議論が続いているようです。

学習指導要領は、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準で、生徒の教科書は、これを基に作られています。したがって、学習指導要領が変わると、学習の内容も授業の在り方も変えていくことになります。次期学習指導要領の改訂の論点に「デジタル学習基盤を前提とした学びの在り方」があります。生徒個人の端末を、授業における個人での学習の文房具として活用することはもちろん、生徒同士の意見交換や発表、さらに家庭学習や課題の提出など、さまざまな学習の場面での活用を進めていくことになるでしょう。

15年以上前になりますが、私は数学の教員として2年間、学校現場を離れて数学教育について学ぶ機会をいただきました。テーマは、PCソフトウェアを活用することで中学2年生の大きな課題「図形の証明」ができるようになるのか、というものでした。当時2~3万円したそのソフトウェアを自費購入して生徒に証明問題を解いてもらいましたが、今では機能の進化した無料のアプリケーションとして誰でも使えるようになっていました。証明問題の指導では、「Aを仮定するとBといえる」、さらに「BだからCである」、したがって「AならばCである」のように説明させることで論理的思考を育むことを目指します。こうした思考は日常的なコミュニケーションでも活かすことができると考えて数学の授業をしていました。ところが、ソフトウェアを使って描いた図形は自由自在に変形できるので、生徒は「AならばCである」ことは「画面を見れば分かる」と結論づけてしまう可能性が出てきたのです。論理的な思考を育むことを目指すならば、ソフトウェアを使わせておくだけではだめだ、教師の支援が必要となる、ではどのような支援をすればいいか、と考える必要があると思いました。

多くの情報にあふれ、社会が急速に大きく変化していく時代にあって、生徒にどんな力を身に着けさせたいのか、ひいてはどんな生徒を育てたいのか、これは数学教育の話だけではなく、学校としても常に考えていかなければならないと思っています。それは、社会の変化に合わせて変えていくのか、社会の変化にかかわらず変わらないものなのか。社会の変化に目を奪われると、変えてはいけないものまで変えてしまうのではないかと、思うこともあります。ご家庭でも、日々、お子様に「こんな人になってほしい」「こんな力を身につけてほしい」と考えられていることと思います。今年度、学校は、「自律」「自立」「自学」をキーワードに教育活動を進めていきます。さまざまな場面を通じて、学校と家庭でお話をしていくことを大切にしていきたいと思います。

## 令和8年度 入学式 新入生誓いの言葉

柔らかな春の風が吹くこのよき日に、私たち114名は御徒町台東中学校に入学します。

本日、私たちのためにこのような立派な式を開いてくださった先生方や在校生の皆様、ご来賓の皆様、多くの方々に心より感謝申し上げます。

私たちは六年間の小学校生活を終え、いま新たな第一歩を踏み出そうとしています。新しい中学校生活に緊張や不安もありますが、同時に希望や期待で胸がいっぱいです。

私の中学校での目標は文武両道を意識して生活することです。私はサッカーのクラブチームに所属しています。チームの活動が週に5日あるので、サッカーと勉強の両立は簡単ではありません。限られた時間の中で、小学校生活で学んだ、時間を大切にすることを生かし、一日一日を大切に、悔いのないように生活したいです。

中学校では教科が増え、定期テストが行われます。どう勉強したらいいのか、テストで良い点数が取れるのかなどの不安もあります。日々努力を怠らず、多くのことを学びたいと思います。また、たくさんの友達を作り、仲間と共に生活や行事に取り組めることを楽しみにしています。保護者の皆様には心配をかけることもあると思いますが、その時は温かく見守っていただけると幸いです。

私はこの中学校での三年間で仲間と切磋琢磨し合い、心身ともに大きく成長することを誓います。

令和8年4月7日  
新入生代表



### 台東区立教育支援館より

スクールソーシャルワーカー（SSW）にご相談ください

SSWは、児童・生徒の皆さんや保護者の方から、学校園や家庭での悩みごとと困りごとを聞き、福祉に関する専門的な知識・技術を活用して、保護者の方と一緒に解決方法を考える福祉の専門職です。

家庭や学校園、地域の関係機関と協力、連携しながら、利用できる制度やサービスの情報提供、家庭訪問などをします。

ご相談の申込みは、在籍している台東区立の学校や園へお願いします。